

特選！ふるさと元気の素

「恋人の聖地」を彩る30段雛飾り 岡本由季

「恋人の聖地」とされる、長野県須坂市の須坂アートパーク（「世界の民俗人形博物館」「須坂版画美術館」）で展示されている30段のひな飾り。月遅れで祝う桃の節句と桜を楽しむ観光客の目を奪っています。30段飾りは幅約7m、高さ約6mで、もちろん「日本最大級」です。

寒さが厳しい冬場に客足が鈍るのを食い止めようと始まったこの催しも今年で8回目。巨大ひな飾り効果は約2万人、両館の来場者は年間で約5万人に達

しています。

「世界の民俗人形博物館」には明治から平成のおひなさまが展示され、ぼんぼりで巨大なハートを描き出し、隣接する「須坂版画美術館」では昭和40年代の人形が四つ葉形に配列されています。赤の着物で小ぶりなのは昭和のおひなさま。平成生まれは体が大きくピンクの着物、と見比べる楽しさもあります。

これらの人形は、一般家庭から寄贈され、思い出が詰まったものばかりです。子供が成長

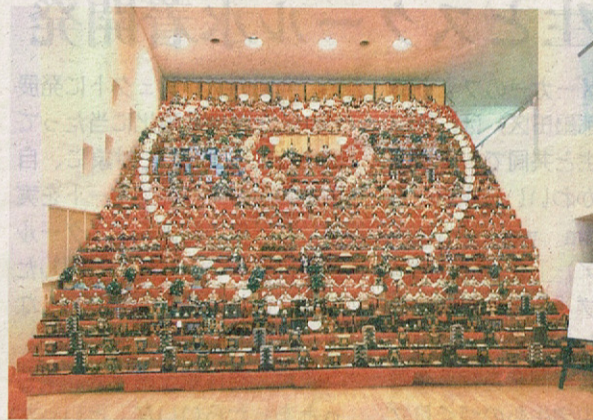
し、倉庫に眠っていた人形を寄贈し、また楽しめる、と毎年訪れる人もいます。

「世界の民俗人形博物館」は20日まで、須坂版画美術館は5月7日まで展示されています。月遅れのひな飾りと北信濃の春。楽しんでみてください。

おかもと・ゆき 長野県出身、信越放送からフリーへ。現在はシンポジウム、司会、講師など。



かざすと、2～3秒でデータを読み込み、動画などが楽しめます。QRコードを読み込める機種では、右のQRコードからも「かざすAR」の無料アプリを入手できます。



須坂の30段飾り。「恋人の聖地」らしく、ぼんぼりでハートのマークを描き出している

kyokua^{na}.net 局アナnet
は放送局で局アナ経験のあるアナウンサーのみ登録できる会員組織。公式サイトでは本欄関連動画をご覧いただけます。

★通販サイト向けサービス「局アナnetレポート動画」をスタートしました。



スマホをかざすと動画が見られます

お手持ちのスマートフォンに「かざすAR」アプリケーションをダウンロードすれば準備完了。アプリを起動し「特選！ふるさと元気の素」の写真に10cm程度離してカメラを